

公表

「障害児通所支援クレヨンの家」事業所における自己評価総括表（児発）

○事業所名	障害児通所支援クレヨンの家（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	R8.1.7		～	R8.1.23
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	R8.1.7		～	R8.1.23
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R8.2.25			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数のため、子ども一人ひとりを観察し、得意なこと は伸ばし、苦手なことは少しずつでもできるようになる ように個々に合わせて支援を行うことができる。	挨拶や集団活動でのルール、活動間の切り替え、活動が 終わった後の手洗い、排泄の促し等、一人ひとりに声掛 けし、日常生活に必要なことを身につけていただくよう に取り組んでいる。	運動療育として色々な身体の動きを取り入れること で、運動能力・体力の向上、脳の活性化、意欲の向 上、心の育成、社会性コミュニケーション能力の向上 等、心身の基礎を形成していくことができるようにし ていく。
2	少人数のため、利用時の体調観察や子どもの安全を確保 することができる。	一人ひとりと関わりを持つことで、信頼関係を作り、安心 して過ごしていただけるように心掛けている。	
3	活動空間が広いので伸び伸びと活動でき、運動量も増加 する。	子どものやりたいこと、興味のあることを把握し、すぐ に活動内容に取り入れている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善計画や安全マニュアル（事故・災害・緊急時） は整っているが見ていただく時間がなく、保護者の方へ 情報が伝わりにくい状況である。	情報発信が不十分などところがある。	SNSを十分に活用し、また、活動報告書等でのよう なマニュアルがあるか、実施した訓練等、保護者の方 へ必要な情報発信を行っていく。 質問等あった時に職員が常に答えられるように内容を 周知しておく。